

こんな活動です

子供も大人も共に成長し、地域コミュニティの活性化へ ～一体的な地域学校協働活動～

山形県鮭川村	●活動名	●関係する学校名
	鮭川村地域学校協働本部	鮭川村立鮭川小学校 鮭川村立鮭川中学校

協働活動開始年度	平成 29 年度	学校運営協議会	指定・設置日	令和3年4月1日設置予定	地域学校協働本部	有
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習	—			
	地域未来塾	放課後子供教室	—			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数			
	—	—	1人			
ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	有	ICT機器活用	無	
	160人	—	—	—	—	
参考URL	http://www.sakegawaih.com					
●連絡先	鮭川村教育委員会 教育課 生涯学習係		☎ 0233-55-3051			



●活動の概要・経緯
鮭川村においても少子高齢化に伴う人口減少、地域コミュニティの弱体化、学校に対するニーズの多様化・複雑化など、子どもを取り巻く課題が複数存在する。これらの課題に対し、鮭川村として一丸となった取り組みをするため、2つの協議会(地域学校協働本部協議会、放課後子ども教室推進事業本部協議会)を統合し、鮭川村学校・家庭・地域の連携協働推進協議会(以下、「協議会」という。)を設立した。また、鮭川村教育プラットフォームとして、学校支援、放課後子ども教室、家庭教育支援を3本柱と位置付け、多様な学びの提供に寄与している。これらにより横断的な情報交換をし、地域人材のネットワークが形成されることで、更なる社会教育の充実や学校教職員の負担軽減、ひいては地域コミュニティの活性化につながることを目的として、活動を継続している。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

小学校では、総合的な学習の時間に伝統芸能学習を行っている。3年生から6年生は、「羽根沢節」「段の下田植え踊り」「鮭川歌舞伎」「清流さけがわ太鼓」といった伝統文化を、地域の方を講師として学んでいる。地域の方との交流の中で、大人とのかかわり方や挨拶、マナーなどといったことも学びながら、その学習の成果を学習発表会で披露し、保護者の方にも子どもの成長を伝えている。また、この事業で学んだ児童が大人になってからその団体に加入するなど、伝統芸能の保存会の後継者育成の側面もあり、村の伝統芸能等の継続的な活動にも寄与している。

【実施に当たっての工夫】

学校からの要望をワンストップで解決：以前まではそれぞれの事業本部に対し、「こんな授業をしたいが、詳しい方はいないか。」等、バラバラに相談を受けていた案件について、協議会が要望を一本化して集約・解決方法の提案・地域人材へ講師の依頼等を行っており、教職員の負担軽減に繋げている。

【関係機関・団体等との連携状況】

地域人材のネットワーク形成：多様な関係団体が参加して協議会にて議論することで、地域人材の交流が生まれ、様々な角度や視点から意見を集約でき、それぞれの思いや現場の声を共有して事業に臨むことができる。地域の方へボランティアを依頼する際にも、思いの共有は重要だと考えている。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

協議会として一本化し、ワンストップで解決できる体制を構築したことにより、効果的・効率的な連絡体制の確立と学校側の事務の負担軽減につながった。また、協議会において事業の評価や精査、改善策等について議論を行うことで「みんなで地域を良くする。」「地域に誇りを持てる子どもを育てる。」という共通認識を確認し、積極的な取り組みの原動力となっている。さらに、協働している地域の方についても、子どもとの触れ合いを通じてやりがいや楽しみを共有できるため、イキイキとした生活を送れるという意見もあり、地域一丸となって子どもを育てる意識が高まっている。今後も関係団体が一体となり、鮭川村に誇りを持てるような取り組みを継続的に、社会教育の更なる充実へ寄与していく。

●その他

地域未来塾では、大学生が中学生に対して各教科の個別指導を行い、放課後子ども教室では、自然の中で体験し、生き物の大切さや暮らしの工夫などを学ぶ。



動戦「生き物引つ越し大作」と題した自然保護活



世界でたった一つの筆を作る藁筆作り教室